

## インドネシア・メダン市での国際交流を通じて

宮本眞衣

「インドネシア」という国名を聞いたとき、日本人はどのようなイメージを思い浮かべるだろうか。

派遣以前の私は、インドネシアに対して「異宗教の地」、「異国」など漠然とした印象しかなかった。そのため、派遣生としての最大の目標は、交流を通じてその国を理解することだった。そしてその経験から、私の愛する日本に対する理解を、歴史的に他方面から理解することも私の密かな目標だった。

実際のインドネシアでの経験は、国を理解するだけにとどまらず、私の中の世界観を一変させてしまった。

「世界！すごい！広い！」

マーギー・プロイスの作品『ジョン・万次郎 海を渡ったサムライ魂』の主人公、ジョン・万次郎の言葉を、私はインドネシアという世界の中で実感した。

姉妹都市として今回派遣されたインドネシア・メダン市は、スマトラ島東北部に位置し、北スマトラ州最大の人口規模を誇る。ゆえにこの都市には、多くの宗教や文化、民族が集まっている。

「インドネシア」というと、多くの日本人はイスラム教を思い浮かべるのではないだろうか。しかし今回の派遣を通じて、それは日本人のインドネシアに対する宗教的概念の誤認だと感じるようになった。確かにこのメダン市において、ムスリム、イスラム教に属する人の割合は全体の人口の5割から6割を占めている。また都市の中で多く見受けられたモスクからも、イスラム教の世界を強く認識できる。

しかし、都市の中ではモスクだけでなく、ヒンドゥー教の建物やクリスチャンのための教会、日本でもなじみある仏教の建物など、数多くのイスラム教以外の建築物が見受けられた。

またトバ湖のサモシル島では、宗教に関する非常に興味深い王の墓石の遺跡の視察をした。サモシル島には太古からの民族宗教が存在していた。視察した際3代に続いて残る王の墓石のうち1, 2代目の王の墓石は民族宗教にともなった様式、デザインであった。しかし、3代目の王の墓は、十字架の刻まれたキリスト教仕様になっていた。

この理由は、3代目の王の時代に渡来してきた宣教師によって、キリスト教が布教され、王が洗礼を受けたことによるという。

このことからインドネシアには、イスラム教のみの確立した国ではないことがいえる。また同じ宗教の中にも、文化や民族などにより異なった、多くのさまざまな宗教的価値観が存在するのだ。

私のホームステイ先のパートナー、ナビラのインドネシアの宗教文化は本当に複雑であるとの主張を実感し、彼女の言葉は特に印象に残るものとなった。

なぜなら、日本は島国という環境上、民族的にも宗教的にもかなりまとまった国であり、インドネシアの宗教的価値観は私にとってとても興味深いものであったからだ。

日本人が宗教に対して偏った概念を持つ理由のひとつには、ここにあると私は思う。

この経験を活かして、インドネシアに対する日本固有の宗教概念を見直していきたい。

両国間の宗教的な価値観による違いもあれば、現地の人々との交流の中で人々の共通点も多く感じた。

現地の学生会の方々やホームステイの家族、現地で出会った人、多くの人から私たちは歓迎を受けた。私はすぐに彼らのことが大好きになった。このような国民性は、日本の「おもてなし」の心と似ている。

また、彼らとの交流の中でもっとも印象に残ったのは、彼らの高い語学力である。彼らの多くは、英語はもちろんのこと、自分の興味や必要性に応じて語学を習得している。このような勤勉さ、まじめさは、日本人と共通するものがあるだろう。しかし、インドネシアの語学教育は日本の英語教育のような机に向かった勉強ではなく、実際に使えるものとしての語学を身につけることを目的としている、ということだ。ある人は必死に生きるすべとして、またある人はコミュニケーションを目的として。

彼らのこのような語学に対する認識、つまり実用的な目的意識は、一国際人として見習うべきだと感じた。

その他、両国間におけるさまざまな共通点や相違点があった。そこには、しばしば戸惑いや困難もあった。

しかし、今回最も大切に思ったことは、インドネシア最終日に日本人もインドネシア人も肩を並べて抱き合っただけを惜しんだときに感じた、宗教も民族も国境も文化も越え、人として共有し合えることができるのだということだ。

私は狭い世界に生きていたことを思い知らされた。世界はこんなにおもしろい。そして、その世界と私は共有することができる。

このような貴重な経験を活かして、私はさらに多くの国と市川市、そして日本がつながる架け橋になりたい。そこで、私の誇る自国を世界中に発信していきたいと思う。

2020年に行われる東京オリンピックはまさに、私たちの世代が日本を担う時代である。国際社会の中での日本の発展に力となるように、この経験を次につなげていきたい。

たくさんの opportunity に出会えますように。